

令和3年度 学校教職員による自己評価一覧

令和4年3月22日開催

評価項目・問題点			現状・取り組み
1	教育理念・目的・人材育成像		
1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	
1	1	1	学校の理念は定められているか 定められている。学校の理念は「柔道整復師の育成を通じて地域社会へ貢献する」ことである。
1	1	2	教育目的は定められているか 定められている。教育目標は「柔道整復師の養成」である。
1	1	3	育成人材像は定められているか 定められている。育成人材像は知見高く技術と人間力の高い柔道整復師である。
2	学校運営		
2	1	運営方針が策定されているか 本学の戦略として策定されている。	
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか 策定されている。	
2	3	運営組織・人事に関する規定の整備は行われているか 整備されている。	
2	4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか 教職員・役員の組織図、役責に準じて整備されている(各種決済書類が整備されている)。	
2	5	情報システムによる業務効率化が図られているか 学生情報システム、オンライン授業システム等が整備されている。	
3	教育活動		
3	1	教育目標の設定が行われているか 国家試験現役合格90%以上、退学率10%未満、留年率10%未満等が整備されている。	
3	2	人材育成像を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は行われているか	
3	2	1	教育到達レベルを確保しているか 3年次に1.2年次の復習を含めた国家試験対策講義を行っている。
3	2	2	学習時間を確保しているか 1年次より成績別での補修を行うなど学習成果の未達者を中心とした学習時間の増加・確保を行っている。
3	3	教育課程の編成は法令を遵守し、社会ニーズに応じたものであるか	
3	3	1	教育課程は法令を遵守し作成されているか 作成されている。

3	3	2	教育課程は社会ニーズに応じて作成されているか	作成されている。
3	4	教育方法・教材の評価、改善(検討)は行われているか		
3	4	1	教育方法の評価、改善は行われているか	小テスト、定期試験などでの評価を基に教育方法の改善に関する会議を行っている。
3	4	2	教材の評価、改善は行われているか	年次単位で補助教材、入学前教材の評価と改善を行っている。
3	5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		
3	5	1	成績評価の基準が明確化され遵守されているか	学生には年度前のオリエンテーション時、定期試験や進級・卒業に関わる試験告知時に説明、掲示を行い、評価についても教職員による判定会議によって確認されている。
3	5	2	単位認定の基準が明確化され遵守されているか	学則、学生便覧にて学生に周知している。認定については進級、卒業判定時に教職員による判定会議が行われ適正な認定が行われている。
3	5	3	進級判定の基準が明確化され遵守されているか	学則、学生便覧にて学生に周知している。判定については年度末期に教職員による判定会議が行われ適正な判定が行われている。
3	5	4	卒業判定の基準が明確化され遵守されているか	学則、学生便覧にて学生に周知している。判定については年度末期に教職員による判定会議が行われ適正な判定が行われている。
3	6	資格取得に関する指導体制、学習時間の確保は行われているか		
3	6	1	資格取得に関する指導体制の整備、実行は行われているか	3年次に1.2年次の復習を含めた国家試験対策講義を行っている。また国家試験対策に関する知見が高い教員を採用している。
3	6	2	資格取得に必要な学習時間の確保は行われているか	模擬試験の評価により対策補講を開催し参加指導を行っている。同時に一定の基準点に未達な者への個別面談を行い学習時間の増加・確保を図っている。
3	7	人材育成に適切な教員の確保が行われているか		

3	7	1	柔道整復学および関連学の授業に適切な教員・講師の確保はできているか	法令の下、必要な専従柔道整復師専科教員数を確保している。採用に当たっては実務経験、教育経験を評価し採用を決定している。
3	7	2	医学および関連学の教授に適切な教員・講師の確保はできているか	法令の下、医師、歯科医師、関連国家資格者を採用している。採用に当たっては大学での教育経験を原則として柔道整復師教育への理解の深い者を採用している。
3	7	3	社会学・実務関連学の教授に適切な教授・講師の確保はできているか	社会学は原則として、大学での教育経験を有する者を採用している。実務関連学は柔道整復師もしくは柔道整復専科教員のうち該当する者を採用している。
3	8		優れた教員確保を行うマネジメントが行われているか	県内外で有資格者のうち実務経験豊富な者もしくは教育経験豊富な者の採用を常時行っている。
3	9		教員の資質向上に関する取り組みや研修が行われているか	業界関連団体での研修や医療技術等の研修会への参加を行わせている。
4	学修成果			
4	1		就職率の向上が図られているか	毎年、内定率 100%を確保している。
4	2		資格取得の向上が図られているか	年度毎の国家資格の難易度の変化に対応すべく教育内容の改善を行っている。
4	3		退学率の低減が図られているか	学生個別相談の拡充、声掛け、保護者と連携した勉学意欲の向上策等を行っている。
4	4		卒業生・在校生の社会的評価を把握しているか	就業先企業との連携の中で評価を伺い教職員で共有している。
4	5		関連学識の研究、研究発表が行われているか	研究サークル活動を行い学会での学生発表に参加している。
5	学生支援			
5	1		進路・就職に関する支援体制は整備されているか	
5	1	1	全学生の就職活動状況の把握ができていますか	定期的なアンケート、活動申告により把握を行っている。
5	1	2	就職活動に関する相談・支援の体制ができていますか	学生支援係を増員し専用の学生支援ルームにて対応している。
5	1	3	法令違反となる雇用や雇用条件の揭示を行っている企業の排除(非奨励)は行われているか	就労条件が労働基準法に反している求人については排除を行っている。また、過去に不適切な雇用を行った企業の非推奨を行っている。

5	1	4	卒業直後の雇用状況等の相談・支援の体制ができているか	学生支援課において対応している。再就職情報の提供も行っている。
5	1	5	就職先企業と担当者の癒着・学生情報の漏洩はないか	癒着、情報漏洩は確認されていない。
5	2	学生の経済的支援体制は整備されているか		
5	2	1	学納金に関する学生相談の体制は整備されているか	事務局において随時行っている。
5	2	2	奨学金・各種補助金等の受付や案内が行われているか	募集情報の掲示、告知を行っている。
5	3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか		
5	3	1	学生の傷病等に対する緊急対応手順が遵守されているか	緊急の傷病の場合、状況を医療系資格者の判断により、病院搬送、一時休養、保護者への通知、帰宅推奨を行っている。また、一部の傷病については資格者による緊急措置を行っている。
5	3	2	傷病・健康に関する学生相談体制は整備されているか	事務局により相談を受け付け学内対応できるものについては対応し、それ以外の場合は医療機関の受診、診断を推奨している。本人および教職員保護のためメンタルケアに類する相談については提携している大学でのカウンセリングへの推奨を行っている。
5	4	学生の生活環境への支援は行われているか		
5	4	1	生活に関する学生相談の体制は整備されているか	事務局において相談を受け付けている。相談の内容により、主に専任教員、教務課、学生支援課が担当している。
5	5	保護者と適切に連携しているか		
5	5	1	学習成果・欠席の状況の報告を行っているか	期末ごとに通知書を発行・報告している。欠席については規定による単位保留、単位未修得とならないよう回数を決め保護者に報告し連携による改善を目指している。
5	5	2	学籍異動に関わる事項、学則違反の状況等の報告を行っているか	成績・欠席状況は随時報告している。学則違反については懲戒に該当するものや学生生活の安全・健全を害するものについて報告し連携による改善を目指している。
5	6	卒業生への支援体制はあるか		
				再就職の相談、国家試験受験の支援を行っている。

6	教育環境			
6	1	施設・設備が必要十分に整備されているか	教育課程に合わせた教室、実習室の確保、設備の確保・改善を行っている。	
6	2	防災体制は整備されているか	整備されている。	
6	3	通学に必要な公共交通機関との連携は図られているか	JR・新潟交通への学校届時に通学状況報告を行っている。遠方地からの通学を除き支障となる時刻表の編成は行われていない。	
7	学生の受け入れ募集			
7	1	高等学校・体育施設・企業等への広報(情報提供)は行われているか		
7	1	1	取得資格の啓蒙が行われているか	資格説明となるパンフレット等の設置を高校、体育施設、医療施設等で行っている。
7	1	2	学校・学生活動の広報が行われているか	広報誌の発行や WEB を通じて学生活動、行事等の様子を発信している。
7	2	学生募集活動は適正に行われているか		新潟県内を中心に通年で行っている。AO入試・入学試験等の開始日程等は専修学校協会の基準に準じて行っている。
7	3	学生納付金は妥当なものになっているか		近隣県および全国の養成校と比較して妥当なものであると考える。
8	財務			
8	1	中長期的な学校財政基盤は安定しているか		収入の中心は学生納付金であることから学生数の変動により短期的に収支の増減はある。しかし余剰資金が確保されており資産や設備などの購入は無借金での経営を行っているため、中長期的には安定した財務状況が継続していると考えている。
8	2	予算・収支計画は妥当であるか		内外の情勢や突発的な状況判断により予算超過・予算未達が発生する場合もあるが、年次総額における変動は県補助金規定の範囲内であり些少なものであると考えている。
9	法令順守			
9	1	専修学校設置基準の順守が行われているか		順守している。
9	2	養成施設設置基準の順守が行われているか		順守している。

9	3	個人情報保護対策が取られているか	学生情報システムの暗号化、学内情報網のセグメント化、ウイルス対策等のシステム上の対策を講じている。そのほか教職員に対する情報教育、情報閲覧者の制限等の対策を行っている。
9	4	学校評価が行われているか	行っている。
10	社会貢献		
10	1	学校施設が学校資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域行事等がある場合は、学校の駐車場スペースの貸し出し等を行っている。
10	2	学生の社会貢献活動を推奨しているか	卒業認定の要件の一つとして社会貢献活動を6回以上と規定し積極的な活動参加を推進している。
11	国際交流		
11	1	留学生受け入れについて検討を行っているか	法令などを確認し検討を行っているが、国家試験の文言理解等において日本語検定2級程度以上の語学が必要であり、言語教育のシステムの整備が必要である。また、卒業後、国家資格を取得しても在留資格である「医療ビザ」の対象外となるなど問題点が多い状況である。
12	新型コロナウイルス感染対策		
12	1	感染対策の実施状況は適切であるか	県、市からの情報、指導を基に教育現場として感染防止に努めている。また、学生個人の行動抑制には限界があるが、医療系資格者の養成校としてハード面、ソフトの両面から適切かつ慎重に対応している。
12	2	対面講義と遠隔講義の実施は適切であったか	県の警報や指導を基に判断を行い適切に対応している。